

ヘルスケアネットワーク(OCHIS)は25日、第18回「安全と健康を推進する協議会 両輪会」を大阪府トラック総合会館で開催する。テーマは、「人材不足を乗り切るための中高年者の活用について〜安全運行と健康管理の側面から〜」。中高年者の事故が続出する中で身体の特徴と予防対策、全ト協よりOCHISが受託し制作にあたった「改訂版健康起因事故防止マニュアル」の内容と使用方法、国交省の情報などについて取り上げる。

同協議会では、「職業ドライバーとあたまの健康」と題して

OCHIS 25日に「両輪会」開催 中高年者活用などを解説

ミレニア取締役の新山賢治氏が講演するほか、コレステロール対策としての機能性飲料についてカゴメ大阪支店課長格の水谷好氏が情報提供を行う。また、人材不足に対する各事業所の対策や健康管理・安全対策・雇用延長などの側面からグループディスプレイも実施される。

1月に発生した軽井沢スキーバス転落事故では、最優先すべき安全対策の再認識とともに、業界を取り巻く人材不足に社会のスポットが当てられた形となった。両輪会では2013年2月、高齢ドライバーをテーマ

として取り上げており、課題はさらに深刻化している。身体機能低下による健康・安全への懸念、そして雇用問題など、今回はさらに掘り上げていく。

同会は2部構成で、第1部の協議会の後は情報交流会が開催される。参加費は一般会員が3000円、OCHIS会員が2000円、第2部の情報交流会が4000円。

OCHISのHPから参加申込書をダウンロードしてファクスによる申し込みが可能。大ト協、近畿共済が協賛予定。申し込みの締め切りは19日となっている。

(木村麻理奈)